



昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

病院だより

2014年7・8月

第299号

第299号【2014年7・8月】

発行者：昭和大学藤が丘病院

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

発行責任者 高橋 寛

(広報委員長)

眼科医長就任のご挨拶

昭和大学藤が丘病院眼科医長

西村 栄一



このたび、3月に定年退職された谷口重雄前教授の後任として、平成26年7月8日に昭和大学藤が丘病院眼科医長を拝命致しました。拝命にあたり、学内・院内の関係各位に多大なるご支援を頂きましたことを、心より感謝申し上げます。

私は昭和大学医学部を卒業後、昭和大学医学部眼科学講座に入局、大学院で眼科学を専攻しました。沖縄、山梨の病院で研修を行い、2001年から約10年間昭和大学藤が丘病院眼科に在籍し、臨床、研究、教育に専念してまいりました。その後、2年間の海外留学の機会を頂き、帰国後、本院の眼科を経て、再び昭和大学藤が丘病院に戻ってまいりました。

私の専門としている分野は白内障手術学です。以前より難症例白内障手術の臨床治療をテーマに研究を行っております。当科には白内障患者さんが多く来院されますが、なかでも合併症などにより通常の白内障手術を遂行するのは難しいと思われる患者さんも数多く紹介していただいております。わかりやすい説明を行い、それぞれの患者さんに適切で最善の治療方法をご提示できるのではないかと考えております。

白内障領域だけでなく、当科では今年から新しい硝子体手術装置や、内視鏡装置を導入致しました。今後は緑内障領域においても新たな治療を導入していく予定です。医療水準の高い、より安全で満足いただける診療をお届けできるよう、日々心がけていきたいと思っております。

私は青葉台で生まれ、幼少期をこの横浜市青葉区で過ごしました。このような生まれ育った街で、地域医療に貢献できることを大変光栄に思っております。地域の皆様から信頼される眼科を目指して、より一層の努力を続けていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

藤が丘病院に採用されて

臨床研修医

武田 悠輝



平成26年4月、研修医一年目として昭和大学藤が丘病院に採用されました。学生実習の時から、この藤が丘病院で働きたいと考えており、希望通り採用され、この病院の一員となれたことにとても喜びを感じております。採用されて早三ヶ月経ちましたが、初めは覚えることがたくさんあり、毎日が大変でした。私は麻酔科からの研修スタートであったため、手技のオンパレードでした。挿管、ルート確保、バイタル管理、人工呼吸器管理など、一つ一つ覚えていくしかありませんでした。学生の頃とは違

い、患者さんを前にしての手技であるため、毎日が本番という緊張感がありました。実際ストレスを感じていましたが、日々優しく、時には厳しく指導して下さる先生方に恵まれ、自分が日々成長していることが分かり、次第に充実感を感じるようになりました。この気持ちを忘れず、忙しい中から少しでも吸収し成長していきたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。

新人臨床研修医として

臨床研修医

斎藤 千聖



このたび、臨床研修医として昭和大学藤が丘病院に採用されました。4月から研修が始まり、3ヶ月が経ちました。現在は消化器内科で研修させて頂いております。

3ヶ月経った今もなお、日々わからないことだらけで勉強の毎日です。

先輩医師の方々はもちろん、さまざまな医療スタッフの方々から毎日たくさんのことを教えて頂いております。一人一人の患者さんを通じて、毎日たくさんのことを学ばせて頂いております。今月から一般病棟での研修が始まったので、少しでも多く患者さんの生の声を聞く時間を持つたかなと思っております。忙しい毎日の中でも、日々勉強を怠らず、一つ一つ丁寧に向き合っていきたいと思っております。まだまだ未熟な私ですが、少しでも患者さんのお役に立てるよう、日々努力していきたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。

在宅復帰は私たち回復期病棟におまかせを！

リハビリ病院1階病棟師長

川野 留美子

当病棟は回復期リハビリテーション病棟として、脳血管疾患や、大腿骨頸部骨折後の急性期治療を終えた患者さんを対象に、身体機能訓練から日常生活



1階病棟スタッフ

全般にわたる幅広いリハビリテーションを365日提供させて頂いております。

私たち回復期病棟では、患者さん個々に合わせた機能回復と在宅復帰、社会復帰の実現を



1階病棟セラピスト

使命と考えています。そのために、医師・看護師・セラピスト・ソーシャルワーカー・薬剤師などの多職種が医療チームとして連携・協力し、多面的に必要な能力の評価、支援や訓練を行いながら在宅復帰・社会復帰に向け、様々な支援や調整を行っています。また、平成26年度から脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が加わり、更に、専門性の高いリハビリテーション医療の提供に努めていきたいと考えています。

安全・安楽・最先端な検査を目指して

藤が丘病院内視鏡センター看護師 露崎 ひとみ

当センターは副院長である高橋寛教授をセンター長として、医師10名、看護師10名(内視鏡技師業務兼任4名)、助手



2名、洗浄専任2名、内視鏡臨床検査技師1名で構成されています。関連病院からも医師10名の協力体制があり年間約10,000件以上の検査・治療を行っています(昨年度の上部消化管検査約6,700件、下部消化管検査約3,320件)。

教育面では、日本消化器内視鏡学会指導施設に認定され、専門医や研修医の育成に力を注いでいます。メディカルの育成にも積極的に取り組み、当院の主催で毎年教育セミナーを開催しています。その内容は、施設の見学や講演会を行い、関連病院と共に質の向上を目指しています。本年は7月に第14回のセミナーが開催され、参加人数も昨年度より増え大盛況となりました。

当センターの目指す医療は、「安全・安楽・最先端の検査治療」です。知識・技術の向上は勿論ですが、医師やメディカルとのチームワークは欠かせません。今後、『安全・安楽・最先端な検査を目指して』をモットーに、最善を尽くしていきたいと思えます。

【院内サークル巡り8】 自転車だからこそ出会える風景へ

レッツゴー ヒルクライム

「レッツゴーヒルクライム」では、主に関東近郊のエリアにて、自転車でツーリング活動を行っています。私たちのサークルには、自転車好きの個性豊かなメンバーが集まり、職場・職種等の垣根を越えて、年間を通して多くのイベントを計画・実行しております。自転車ツーリングの楽しみは、何よりも安く健康的



に、「自転車」という共通の趣味を通じて、みんなで楽しく旅してまわることができることです。旅先では、温泉に入ったり、地元の特産品を食べたり、すばらしい日本の四季や人情にダイレクトに触れることができます。

自転車は自動車やオートバイと違い、1馬力にも満たない自分自身の脚力を使い、己の体力と精神力を信じて、ペダルをこぎ続けなければ先には進めません。ツーリング時のコースはいつも平坦な道とは限らず、上り坂のきつい峠も越えなければなりません。しかし峠を登りきると、すばらしい景色と、スリリングな下りが待っています。興味のある方は是非ご参加ください。

(藤が丘病院防災センター 大平 正司)

【院内サークル巡り9】 山を一緒に歩いてみませんか?

トレッキングサークル

僕は大学2年生の時に部活で北岳に登山して以来、山歩きを続けています。職業から連続して休暇を取ることが難しいので日帰りで行ける距離の山になりがちなのですが、予定の合った少人数の仲間達と楽しく活動しています。今年は大山、高水三山、鍋割山、御岳山・大岳山、本仁田山、高尾山・陣場山に行ってきました。どれも標高はそれほど高くありません。富士山のような高い山に登るのも良いですが、低山を友達と話しながらゆっくり歩くというのも良いものです。

山の中を歩いていると普段の生活や仕事のことなど忘れられ、気持ちがスッキリしてストレス解消になります。森林のマイナスイオンを浴びながらの有酸素運動は健康維持にぴったりです。特別な道具も運動テクニックも必要ありません。中高年の楽しみというイメージが強いですが、最近では若者の山デートなんていうのも流行っているような。歩く過程を楽しむトレッキング、僕らと一緒に始めてみませんか。



(藤が丘病院放射線科 岡部 尚行)

藤が丘病院・リハビリ病院合同ワークショップが開催されました

6月6日(金)から7日(土)にかけて、オンワード総合研究所人材開発センター(横浜市都筑区)において『藤が丘病院とリハビリテーション病院との連携強化について』をテーマに平成26年度藤が





丘病院・藤が丘リハビリ病院合同ワークショップが開催されました。参加者は藤が丘病院21名、リハビリ病院11名の総勢32名でした。

参加者は5班に分かれ、KJ法を用いて『問題点の抽出・優先順位の決定』から順を追って、『問題点の解決策』、『解決策の具体的実行案』、『具体的実行案の修正とスケジュール作成』まで活発な討議を行い、結果を発表しました。すべてのセッションの討議・発表が行われた後、小口理事長の講話、眞田院長の講評が行われ、最後に参加者全員に修了証が授与されワークショップは無事終了しました。

また、今回の藤が丘病院・リハビリ病院合同ワークショップの報告会が7月31日(木)に藤が丘病院B棟6階講堂で行われました。(藤が丘病院管理第一課 高橋 良治)

七夕の笹を飾りました

藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院では7月7日(月)の七夕にちなみ笹を飾りました。笹飾りは院内の看護師により作られたもので、色とりどりで華やかに飾り付けられ、今年も病院に夏の季節感を与えてくれました。短冊には様々な思いの詰まった願いが書かれており、早く叶ってほしいと思います。なお、笹は毎年、近隣住民の方からご寄付いただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

また、当日は『セタライトダウン』も実施し、地球温暖化防止に努めました。



(藤が丘病院管理第一課 江草 秀)

地域の盆踊り大会に参加しました

7月19日(土)藤が丘第三公園にて藤が丘二丁目自治会夏まつり盆踊り大会が、8月2日(土)には藤が丘駅前公園にて藤が丘一丁目町内会盆踊り大会がそれぞれ開催されました。藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院からも例年のように様々な職種の職員が大勢参加しました。職員はお揃いの青い法被を身に纏い踊りの輪に加わり、地域のご婦人に踊りを教えていただくなど、盆踊りに協力し、地域の方々との交流を図ることができました。



(藤が丘病院管理第一課 江草 秀)

公開講座が開催されました

時折激しい雨が降る6月28日(土)、藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院合同の公開講座が行われ、73名の方が受講されました。今回は、昭和大学公開講座の統一テーマである「暮らしと健康」より、藤が丘病院救急医学科佐々木純講師による「災害時にできること」と、藤が丘病院薬局向後麻里薬局長(病院薬剤学講座准教授)による「万一の時に備えよう!〜おくすり手帳〜」の2講演が行われました。

「災害時にできること」は前回の公開講座アンケートでご要望が多かったテーマであり、災害時のトリアージ・応急手当・救命処置・AEDの使い方や熱中症の予防法、災害時に何を備えるか、災害時にはどこで医療を受けられるのか、などの説明がありました。また、藤が丘病院が参加しているDMATについての説明も行われました。

「万一の時に備えよう!〜おくすり手帳〜」では、おくすり手帳をどのように活用するか、おくすり手帳がなぜ重要なのか、などの説明の後、東日本大震災時に派遣された昭和大学医療救援隊の活動について「チーム医療の実践と薬剤師の役割」と題して講演を行いました。

今後も地域の方々お気軽に参加でき、参加された方々のためになるような講座を開催していきたいと考えておりますので、



(藤が丘病院管理第二課

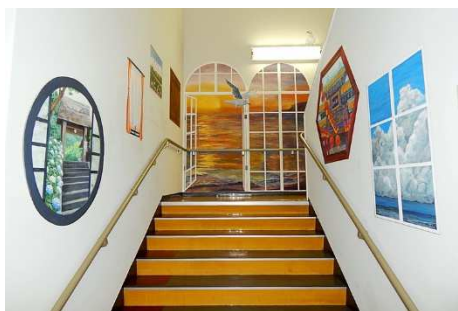
お気軽に受講したいテーマやご意見をお寄せ下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

佐藤 文仁)

リハビリテーション病院に壁画が誕生しました

藤が丘リハビリテーション病院のG階から1階の階段室の壁に、『窓越しに見た神奈川の風景』が11点描かれました。これは、橘学苑高等学校(横浜市鶴見区)のデザイン美術コースに在籍している1~3年の生徒24名が、ボランティアとして7月29日から8月8日の間



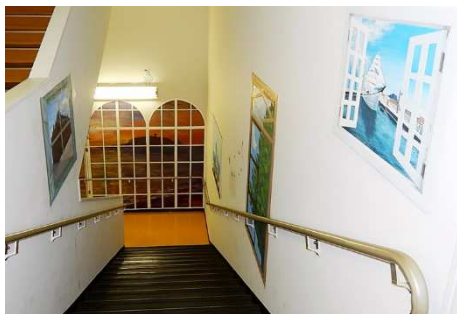


に制作したものです。

そもそも「病院の壁って殺風景だよ」という職員の嘆きが発端となり、「素敵な絵を描く高校生

たちがいるよ」ということから「彼らの発表の場になるとイイかも」とトントン拍子で話が進み、実現に至りました。

リハビリテーション病院では、従来グレーに塗られていた壁を白く塗装し壁画制作受け入れの準備をしまし



た。生徒たちは、階段、壁などをしっかりと養生してから制作に取り掛かり、壁画完成後は綺麗にゴミを拾い、階段を丁寧に雑巾で拭いて帰って行きました。壁画の出来もそうですが、このさりげない行為がとても印象的でした。

(藤が丘病院管理第一課 高橋 良治)

美味しいお話し第4回 夏バテ防止に必要なビタミンB1

夏は暑さで食欲がおちて、さっぱりした『冷やしそうめん』や、『ざる蕎麦』だけということはありませんか。糖質は大切なエネルギー源ですが、ビタミンB1も同時に摂取しないとエネルギーに変えることができなく無駄になってしまいます。また、ビタミン

B1は消化液の分泌をよくする効果もあります。今回は豚肉を使った料理を紹介しますが、鰻にも多く含まれています。夏バテ防止のためにも、ビタミンB1を含んだおかずを1品加えてみませんか。

<豚肉の冷しゃぶしゃぶサラダ>



《材料 2人前》

豚ロース薄切り150g、レタス2枚、胡瓜1/2本、トマト1個、かいわれ大根1/3束、生姜 適量、炒り胡麻大さじ1杯、ポン酢ドレッシング

《作り方》

①レタスをちぎり、トマトは1/8くし切り、胡瓜は千切り(輪切り)、かいわれ大根はぶつ切り、生姜は千切り(おろし)にします。

*野菜は水菜、大根等の野菜でも代用できます。

②豚肉は1口サイズにぶつ切りにし、酒を少々入れた熱湯で茹で水を入れた冷水にさっとくぐらせ粗熱をとり、水を切ります。

③皿に野菜を盛り付け、豚肉、生姜、炒り胡麻を振りかけ、お好みの量のポン酢ドレッシングをかけます。

(リハビリ病院栄養科 長谷部 茂美)

7月10日(木)に予定していました第12回藤が丘地域連携フォーラムは、台風8号の影響のため中止させていただきました。

診療統計 2014年6月・7月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2014年6月	2014年7月	2014年6月	2014年7月
外来患者数	30,671人 (1,226.9人)	31,750人 (1,221.2人)	5,375人 (215.0人)	5,492人 (211.2人)
入院患者数	14,762人 (292.1人)	14,928人 (481.5人)	4,940人 (164.7人)	5,193人 (167.5人)
紹介率	85.3%	81.2%	57.4%	55.2%
逆紹介率	61.0%	59.3%	38.0%	35.4%

《編集委員》

高橋 寛	佐々木 春明	水間 正澄	小岩 文彦	高橋 良昌	小宅 育代
大塚 幸彦	吉原 利栄	辻本 さなえ	佐藤 優子	松尾 悠	飯田 八代枝
出川 美幸	高橋 良治	(順不同)			